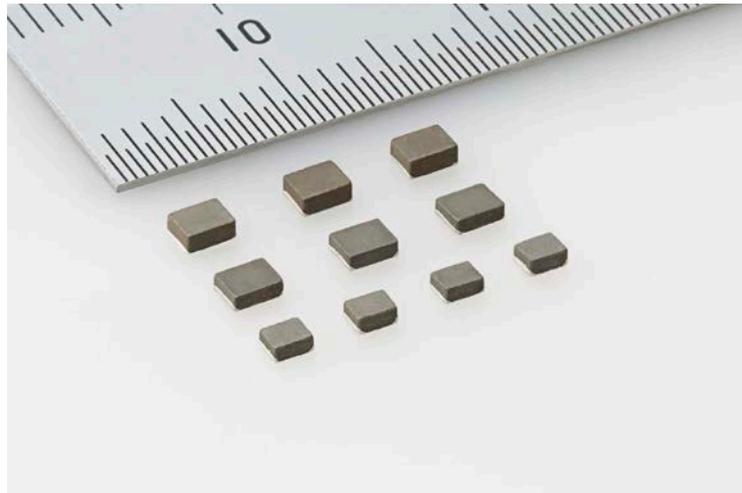


News Release

2014年9月30日

**太陽誘電:メタル系パワーインダクタ「MCOIL™」、MAシリーズにハイスペック品追加****-当社従来品比で直流重畳特性を約24%向上、機器の高性能化に貢献-**

太陽誘電株式会社(代表取締役社長:綿貫 英治、本社:東京都台東区)は、メタルコア巻線チップパワーインダクタ「MCOIL™(エムコイル) MA シリーズ」で直流重畳許容電流値などを向上させた「MAMK2520H」(2.5x2.0x1.2mm)、「MAKK2520H」(2.5x2.0x1.0mm)、「MAKK2016H」(2.0x1.6x1.0mm、それぞれ高さは最大値)の量産を開始します。

これらの商品は、小型・薄型化と高性能化が進むスマートフォンやタブレット端末など、デジタル機器の電源回路向けチョークコイル用途のパワーインダクタです。

今回商品化した「MAMK2520HR47M」(インダクタンス値 0.47uH、直流重畳許容電流値 5.2A)は、当社従来品の「MAMK2520TR47M」(同 4.2A)と比較して直流重畳許容電流値を約 24%向上させ、機器の高性能化に貢献します。

2014年9月より、中之条工場(群馬県吾妻郡中之条町)にて、メタルコア巻線チップパワーインダクタ「MCOIL™ MA シリーズ」を含め、月産 6000 万個の量産体制を構築します。当社サンプル価格は各サイズともに 50 円です。

スマートフォンに代表されるモバイル端末では、高性能と高効率を両立するため、プロセッサの高速駆動化とマルチコア化が進んでいます。そのようなプロセッサでは、コアごとに大電流に対応した電源回路を搭載することが求められます。また同時に機器の小型・薄型化のため、搭載される部品への小型・低背化という要求も強まっています。

太陽誘電はそのような市場に対し、直流重畳特性(注 1)に優れた当社独自の金属系磁性材料を使用したメタル系パワーインダクタ「MCOIL™」を提供してまいりました。今回、メタルコア巻線チップパワーインダクタ「MCOIL™ MA シリーズ」の内部構造を見直し、巻線技術を高度化することで、当社従来品から直流重畳許容電流値を約 24%向上させることができました。

今後もメタル系パワーインダクタ「MCOIL™」シリーズの商品ラインアップ拡大と性能向上を進めていきます。

※「MCOIL」は、日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

これらの商品は、10月7日から幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)で開催される「CEATEC JAPAN 2014」の太陽誘電ブースにて展示します。

■ 用途

スマートフォンやタブレット端末など、デジタル機器の電源回路向けチョークコイル用途。

■今回商品化したメタル系パワーインダクタ「MCOIL™」のラインアップは以下の通りです。  
(全9アイテム)

品名	インダクタンス [ $\mu$ H]	インダクタンス 許容差	直流抵抗 [m $\Omega$ ] max.	定格電流 [A] max.	
				直流重畳 許容電流値	温度上昇 許容電流値
MAMK2520HR47M	0.47	±20%	25	5.2	4.0
MAKK2520HR33M	0.33	±20%	25	6.2	4.3
MAKK2520HR47M	0.47		29	5.7	4.0
MAKK2520H1R0M	1.0		53	4.1	3.0
MAKK2520H2R2M	2.2		121	2.3	1.7
MAKK2016HR24M	0.24	±20%	28	4.7	3.6
MAKK2016HR47M	0.47		36	4.0	3.3
MAKK2016HR68M	0.68		50	3.2	2.7
MAKK2016H1R0M	1.0		70	2.7	2.2

■ 用語解説

(注1) 直流重畳特性

インダクタに大きな直流電流を流すと、磁気飽和を起しインダクタンスが急峻に低下するという直流重畳現象がある。インダクタンスが低下すると回路に悪影響を及ぼしてしまう。そのため、特にスマートフォンの電源回路には、直流重畳特性が良いパワーインダクタが求められる。